

# 平和を考える〈2〉 憲法9条と自衛隊 — 両立か対立か —

講師 松竹 伸幸

(編集者・ジャーナリスト、「自衛隊を活かす会」事務局長)

戦後長い間、憲法9条と自衛隊は対立するものと考えられてきた。9条で戦力は持たないと明記しているにもかかわらず、自衛隊は紛う方なき戦力であったから、当然のことではある。しかし、9条のもとで「専守防衛」という独特な政策が編み出され、災害救助に専念してきたことにより、憲法違反を疑われた自衛隊は国民の大多数からリスペクトされる存在になっている。9条と自衛隊の関係をどう捉え直すべきかを提言する。

日時 2019年 **7月27日** (土) 13:30~17:30 (受付13:00)

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面を  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23 ご覧ください。

参加費 2,300 円、学生 1,000 円 (コーヒー込み)

\* 要申込み \* 7月24日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、  
WEBフォーム等でお申し込み下さい。

◎スケジュール◎

13:30~15:00 発題講演

15:00~15:30 コーヒーブレイク

15:30~17:30 質疑とはなしあい



松竹 伸幸 まつたけ のぶゆき

編集者・ジャーナリスト、「自衛隊を活かす会」事務局長(同会の正式名称は「自衛隊を活かす:21世紀の憲法と防衛を考える会」代表=柳澤協二)。1955年、長崎県生まれ。一橋大学社会学部卒業。日本共産党政策委員会安保外交部長などを経て、2006年よりかもがわ出版に勤務。昨年末に同社編集長を退任し、現在は編集主幹。

主な著書に、

『北朝鮮問題のジレンマを「戦略的虚構」で乗り越える』(あおぞら書房)、

『改憲的護憲論』(集英社新書)、『対米従属の謎』『集团的自衛権の深層』

『憲法九条の軍事戦略』(平凡社新書)、『慰安婦問題をこれで終わらせる』(小学館)、

『「日本会議」史観の乗り越え方』『9条が世界を変える』(かもがわ出版)など。

「社会」 第3回 8月31日(土)

<平和を考える 3>

「憲法9条もアメリカも日本を守ってくれない」

講師：伊勢崎 賢治（東京外国語大学大学院教授）



「いのち」 10月12日(土)

「ゲノム編集 何が問題か」(仮)

講師：中山 潤一（基礎生物学研究所クロマチン制御研究部門教授）

土井 健司（関西学院大学神学部教授）

「福祉」 第1回 6月29日(土) [共催・会場 京都YWCA]

「こども・若者を応援する大人に求められるもの  
～釜ヶ崎「こどもの里」の取り組みから」(仮)

講師：荘保 共子（特定非営利活動法人こどもの里 理事長）

【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール [office@academy-kansai.org](mailto:office@academy-kansai.org)

所長代行 榎本 栄次

担当 都木かおり

【会場へのアクセス】



●市バス 5・31「修学院道」、北8・65「修学院駅前」下車、徒歩20分。

●京阪「出町柳」から乗り換え 叡山電車「修学院」下車、徒歩約20分

●地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅まで迎車をお出しします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄から、タクシーご利用の場合は、最寄りの松ヶ崎駅より北山駅のほうが拾いやすいです。

—————2019年度 修学院フォーラム「社会」第2回 参加申込書—————

(フリガナ) 名 前	所 属
住 所 〒	
電話 (       )       -       FAX (       )       -       携帯 (       )	
電子メール :	@
通信欄 :	